

鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和3年度実績に係る効果検証結果 総括表

検証会議の意見
 A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

検証会議による検証結果

4つの基本目標に対する評価 (積極・適応戦略)		1 しごとで 活力を 「つくる」	2 結婚・出産・ 子育ての希望を 「かなえる」	3 まちの魅力を 「みがく」	4 ひと・まちを 多彩に 「つなぐ」	重点戦略				合計	(参考) R2年度分
						(1)世界基準 の観光地域 づくり	(2)健“高” 医“良” 都市の創造	(3)大学との 連携強化と ふるさと 教育の推進	(4)連携中枢 都市圏の 形成		
施策に対 する評価	A	9	7	3	5	0	1	2	1	28	28
	B	0	2	4	2	1	0	0	0	9	9
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		9	9	7	7	1	1	2	1	37	37

評価(数値目標・KPI)
 a：十分に達成されている
 b：概ね達成されている
 c：あまり達成されていない

(参考) 数値目標・KPIの評価

4つの基本目標 (積極・適応戦略)		1 しごとで 活力を 「つくる」	2 結婚・出産・ 子育ての希望を 「かなえる」	3 まちの魅力を 「みがく」	4 ひと・まち を多彩に 「つなぐ」	重点戦略				合計	(参考) R2年度分
						(1)世界基準 の観光地域 づくり	(2)健“高” 医“良” 都市の創造	(3)大学との 連携強化と ふるさと 教育の推進	(4)連携中枢 都市圏の 形成		
数値目標		c	a	c	b						
KPI	a	6	4	2	4	0	1	1	1	19	19
	b	1	2	0	1	0	0	1	0	5	7
	c	2	3	5	2	1	0	0	0	13	11
	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		9	9	7	7	1	1	2	1	37	37

○ 数値目標・KPIの評価は、内部基準に基づく絶対評価である。

基本目標1 しごとで活力を「つくる」

<p><概要>KPIの評価</p> <p>a:十分に達成されている</p> <p>b:概ね達成されている</p> <p>c:あまり達成されていない</p>	<p><概要>検証会議の意見</p> <p>A:引き続き、現状の取組を推進すべきである</p> <p>B:全体的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある</p> <p>C:取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
---	--

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見																	
			しごとで活力を「つくる」の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)																		
基本目標1 しごとで活力を「つくる」	<p>(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組)</p> <p>(2)地域産業の競争力強化(分野別取組)</p> <p>(3)若い世代をはじめとする雇用機会の拡大</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 28,317</td> <td>30,100</td> <td>事業所</td> </tr> <tr> <td>(H26) 278,415</td> <td>283,500</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26) 28,317	30,100	事業所	(H26) 278,415	283,500	人	<p>事業所数</p> <p>従業者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27,279 *</td> <td>-58.2%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>274,569 *</td> <td>-75.6%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	27,279 *	-58.2%	c	274,569 *	-75.6%	<p>数値目標「事業所数」及び「従業者数」については、あまり達成されていない。事業所数については、市内で大半を占める小規模事業者が経営不振や後継者不足などを要因として減少している傾向が全国で見られ、本市も同様の状況にあると考えている。また、従業者数については、生産年齢人口の減少の影響によるものと考えている。</p> <p>地域産業の競争力強化に向けた人材確保や商業・サービス業、農林水産業の活性化については、十分に達成されているとともに、ものづくり産業の活性化は概ね達成されている。一方で、新事業・新産業創出の支援や経営改善の支援にかかるKPIについては、あまり達成されていない。</p> <p>また、創業・第二創業への支援や企業立地の推進、若者・女性・高齢者等の活躍促進などに取り組むことで、若い世代をはじめとする雇用機会の拡大は十分に達成されている。</p>	<p>新事業・新産業創出の支援について、クリエイティブ産業の育成支援や事業化された取組のPR等を進めるほか、経営改善の支援については、事業者が利用しやすい制度の設計や関係団体等と連携した周知広報に努めるとともに、事業承継セミナーを開催するなど、事業者等に対する支援に取り組む。</p> <p>その他の取組についても、引き続き施策を実施するとともに周知広報を図り、アフターコロナに向けて安定した雇用や地域の活力を生み出すまちの創造を目指し、稼げるしごとで活力を「つくる」取組を展開する。</p>	<p>数値目標については、市内で大半を占める小規模事業者の減少や生産年齢人口の減少がそれぞれ影響しているものと考えられ、あまり達成されていない。しごとで活力を「つくる」という基本目標に向けた取組の方向性は妥当であることから、引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、同感染症の影響下においても工夫を重ねながら、しごとで活力を「つくる」取組を展開していただきたい。</p> <p>また、数値目標については、今後、第2期総合戦略を推進する中で、施策の効果をより把握できる指標を検討すべきである。</p>
基準値	目標値 (R3)	単位																				
(H26) 28,317	30,100	事業所																				
(H26) 278,415	283,500	人																				
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																				
27,279 *	-58.2%	c																				
274,569 *	-75.6%																					

No.	積極戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見																	
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)																		
1	(1)しごとで活力を「つくる」	<p>(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組)</p> <p>①新事業・新産業創出の支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 8</td> <td>127</td> <td>事業者 (7年間)</td> </tr> <tr> <td>(H28) 36</td> <td>60</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26) 8	127	事業者 (7年間)	(H28) 36	60	%	<p>新たなビジネス展開に取り組む事業者数</p> <p>本市の補助金を活用した新たなビジネス展開の事業化率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>138</td> <td>108.7%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	138	108.7%	c	36	0.0%	<p>KPIについては、「本市の補助金を活用した新たなビジネス展開の事業化率」があまり達成されていない。これは、開発段階のものが未だ事業化されていないためであると考えている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、新サービス等の創出に向けた取組に対する助成や、クリエイティブ産業の育成支援に取り組んだほか、オープンデータについては、本市ホームページにおいて公開している公共施設の位置情報等のデータ数を拡充するとともに、市民のひろば等での周知広報に努めた。</p> <p>これらの取組により、新たな事業展開等の促進を図った。</p>	<p>専門家による伴走型の支援や、産学連携のためのマッチング支援、補助事業に対する継続的なサポートのほか、クリエイティブ産業の育成支援や事業化された取組のPR等を引き続き進めていく。</p> <p>オープンデータについては、利用者の意見・要望を踏まえたうえで、公開するデータの充実を図るとともに、周知広報に努める。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(1)-②新事業・新産業創出の支援</p>	<p>KPIについては、事業化率の進捗が伸び悩んでおり、あまり達成されていない。事業化には一定の期間を要することを踏まえ、取組の方向性は妥当であることから、引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、事業者へのサポートに取り組んでいただきたい。</p>
基準値	目標値 (R3)	単位																					
(H26) 8	127	事業者 (7年間)																					
(H28) 36	60	%																					
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																					
138	108.7%	c																					
36	0.0%																						
2	(1)しごとで活力を「つくる」	<p>(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組)</p> <p>②経営改善の支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 1,317</td> <td>1,350</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26) 1,317	1,350	件	<p>産業振興、創業支援、新事業展開支援資金の利用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>527</td> <td>39.0%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	527	39.0%	c	<p>KPIについては、あまり達成されていない。これは、R2年度において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者向けに県が創設した新型コロナウイルス関連緊急経営対策資金(無担保・3年間無利子)に利用が集中したことから、3年度は融資の需要が縮小したものと考えている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、創業支援資金の自己資金要件の緩和、保証料補助を引き上げる対象の拡大、新規開業支援利子補給の取扱期間の延長などを行った。また、金融機関個別訪問や広報リーフレットの配布等により、本市の融資制度による経営改善の支援について周知広報を図ったほか、事業承継セミナーを開催するなど、事業者等に対する支援を行った。</p> <p>これらの取組により、経営基盤強化の促進や事業承継への支援の充実を図った。</p>	<p>今後も引き続き、事業者が利用しやすい制度の設計や関係団体等と連携した周知広報に努めるとともに、事業承継セミナーを開催するなど、事業者等に対する支援に取り組む。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(1)-①地域産業の競争力強化</p>	<p>KPIについては、県が創設した新型コロナウイルス関連緊急経営対策資金に利用が集中したこともあり、あまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、県や経済団体、金融機関との連携を図りながら、事業者が利用しやすい制度を検討し、ニーズに合った支援となるよう努めていただきたい。</p>					
基準値	目標値 (R3)	単位																					
(H26) 1,317	1,350	件																					
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																					
527	39.0%	c																					

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)														
3	(1)しごとで 活力を「つくる」	(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組) ③人材の確保 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>42</td> <td>人 (6年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	-	42	人 (6年間)	首都圏等からのクリエイティブ人材の移住者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39</td> <td>92.9%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	39	92.9%	a	KPIについては、十分に達成されている。 H28年度7人、H29年度4人、H30年度6人、R元年度3人で、単年度あたりの目標値(7人)を下回っていたが、R2年度は11人、R3年度は事業一部休止にも関わらず8人と目標値を上回った。これは、新型コロナウイルス感染症の流行により地方移住の機運が高まったことによる影響とも考えられる。 R3年度までの取組状況としては、専用WEBサイトを作成し、移住クリエイターのインタビュー記事を掲載する等、戦略的な情報発信を行うとともに、UIJターンイベントやお試し移住の実施、移住補助金の交付などにおいて、本市独自の取組を行い、クリエイティブ人材の誘致に取り組んだ。 また、UIJターンによる就業・起業者の創出を図るため、東京23区の在住者または23区への通勤者が、市内に移住し、中小企業等に就業、起業またはテレワークを行っている場合に移住支援金を支給したほか、産学官連携による会議を開催し、若者の地元定着等に向けた取組を推進した。 これらの取組により、人材確保の推進が図られた。	引き続き、UIJターンイベントやお試し移住、移住補助金の交付、戦略的な情報発信を行うなど、クリエイティブ人材の誘致に取り組む。 また、東京23区の在住者または23区への通勤者が、市内に移住し、中小企業等に就業、起業またはテレワークを行っている場合に、移住支援金を支給するほか、中学生をはじめとする若い世代に地元企業等の魅力発信や情報提供を行うイベントを関係機関と連携して開催する。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(1)-③人材の確保・育成	KPIについては、人材の確保に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、移住に至らなかったケースを分析し、より効果的な施策となるよう努めるほか、若者の地元定着の取組について、より実効的な支援を検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
-	42	人 (6年間)																	
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																	
39	92.9%	a																	
4	(1)しごとで 活力を「つくる」	(2)地域産業の競争力強化(分野別取組) ①商業・サービス業の活性化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>27</td> <td>人 (6年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	-	27	人 (6年間)	空き店舗等の再生などによる新規就業者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>92.6%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	25	92.6%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R3年度までの取組状況としては、商業・サービス業のさらなる活性化を図るため、商店街等に対して各種支援を行ったほか、空き店舗等の再生を担う人材を育成するため、リノベーション実践セミナー等を開催した。そのほか、H30年度から開始している創業者と空き店舗のマッチングにより空き店舗の解消を図る創業者テナントマッチング事業の活用を促進を図った。 これらの取組により、商店街等の活性化が図られた。	引き続き、商店街等への各種支援や街なかリノベーション推進事業、創業者テナントマッチング事業により、商業・サービス業の活性化や空き店舗等の再生を担う人材の育成、空き店舗の解消を図る。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(1)-①地域産業の競争力強化 ③人材の確保・育成	KPIについては、商業・サービス業の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、商店街のさらなる活性化に向けて、助成を受けていない商店街に対して積極的な情報発信を行うとともに、空き店舗になりそうな店舗の事前把握に努め、より効果的なマッチングを図っていただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
-	27	人 (6年間)																	
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																	
25	92.6%	a																	
5	(1)しごとで 活力を「つくる」	(2)地域産業の競争力強化(分野別取組) ②ものづくり産業の活性化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>11</td> <td>357 件 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	11	357 件 (7年間)	本市の事業活用による商談成約件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>307</td> <td>86.0%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	307	86.0%	b	KPIについては、概ね達成されている。 R3年度までの取組状況としては、H28年度に国内開催の商談会等への出展経費に助成する要件を緩和したことや、R元年度から企業の海外販路拡大への取組段階に応じた伴走支援を開始したこと等により、出展支援件数、成約件数が増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響によりR2・3年度は商談会等が減少するなど、成約件数は低調となった。 アドバイザー派遣事業については、毎年各製造業組合や金融機関、商工会議所等への制度案内を行っており、R元年度までは年10社程度に経営改善等の指導を行ったが、コロナ禍以降は年1社と低調となっている。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による移動の制限等の影響を受けたものの、可能な取組を実施することでものづくり産業の活性化が図られた。	事業者が利用しやすい支援制度の設計に努め、その周知広報に関係団体と連携しながら取り組むことで、アフターコロナに向けた国内外への販路拡大に資する取組への支援を実施していく。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(1)-①地域産業の競争力強化	KPIについては、ものづくり産業の活性化に向けて、概ね達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、同感染症収束後の商談の在り方を検討するとともに、地域金融機関と連携しながら、より効果的な販路拡大への支援となるよう努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26)	11	357 件 (7年間)																	
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																	
307	86.0%	b																	

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)														
6	(1)しごとで 活力を「つくる」	(2)地域産業の競争力強化(分野別 取組) ③農林水産業の活性化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>5</td> <td>人 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	5	人 (7年間)	本市支援による新規就農者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65</td> <td>103.2%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	65	103.2%	a	KPIについては、十分に達成されている。 (R2年度末の改訂により、目標値を41人から63人へ上方修正) R3年度までの取組状況としては、本市農産物等を活用した6次産業化の推進については、研修会の開催や商品開発等の支援を通じ、61品の加工品が商品化された。 また新規就農者の育成については、就農相談の内容に応じて、技術研修、農地の斡旋、就農に必要な設備等への支援、国の農業次世代人材投資資金の交付などにより、7年間で65名の新規就農者が確保された。また、これらの新規就農者へは、営農指導や規模拡大等の支援を行い、地域の担い手となるように育成に努めた。 これらの取組により、農林水産業の活性化が図られた。	6次産業化の推進については、加工品の商品開発が可能施設整備を行うほか、加工や販売についての研修会を開催するなど、意欲と能力がある生産者を支援し、6次産業化を促進する。 また、本市の農林水産物等を生産者団体等と連携してPRすることで、需要を喚起し、販路の拡大を図る。 新規就農者の確保・育成については、関係機関と連携し、就農相談から技術習得を経て経営開始に至るまで支援を行う。また、就農後の早期経営安定を図るため、生産基盤の規模拡大等の支援に努める。 スマート農業については、先進的な活用事例を情報提供するほか産地に適した先端技術と栽培管理体系を融合させた新たな営農技術体系を検討し、その導入実践に向けた取組を支援する。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(1)-①地域産業の競争力強化 ③人材の確保・育成	KPIについては、農林水産業の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、新規就農者の育成に加え、既存の生産者に対する生産基盤の規模拡大等の支援に努めるほか、先進的な活用事例の情報提供や新たな営農技術体系の導入実践に向けた支援を行うことでスマート農業を推進していただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26)	5	人 (7年間)																	
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																	
65	103.2%	a																	
7	(1)しごとで 活力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする雇用機 会の拡大 ①創業・第二創業への支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>36</td> <td>者 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	36	者 (7年間)	本市支援による新規創業者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>247</td> <td>98.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	247	98.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R3年度までの取組状況としては、ソフトプラザがごしまリニューアル整備・運営基本計画に基づき、H30年度にソフトプラザがごしまをクリエイティブ産業創出拠点施設「mark MEIZAN」として整備し、同施設を活用してクリエイティブ人材の育成、コミュニティ形成、情報発信に取り組んだ。 また、「ソーホーがごしま」等にインキュベーションマネージャーを配置し、利用者の相談支援を行ったほか、創業スキル関連講座の開催等を通じて新規創業への支援を着実に推進するとともに、創業支援対象者に対する追跡調査を行い、フォロー支援も行った。 これらの取組により、新規創業者等の育成促進が図られた。	ソーホーがごしまやmark MEIZANにおいて、継続的にセミナー等を実施するとともに、創業後における追跡調査や支援体制の構築、大学と連携した事業の実施などにより、新規創業者等に対する支援に努める。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(1)-②新事業・新産業の創出支援 ③人材の確保・育成	KPIについては、創業・第二創業への支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、新規創業者のフォローアップを行うとともに、創業に至らなかった理由を調査・分析し、より効果的な施策となるよう努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26)	36	者 (7年間)																	
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																	
247	98.0%	a																	
8	(1)しごとで 活力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする雇用機 会の拡大 ②企業立地の推進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>7</td> <td>件 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	7	件 (7年間)	企業立地件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>49</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	49	100.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R3年度までの取組状況としては、首都圏における展示会へのブース出展や企業立地促進補助制度のPR、市外企業に対するオンライン面談の活用、市内企業に対する訪問など、企業立地を推進する活動を積極的に行った。 また、連携中枢都市圏構成市で連携したPRや、立地企業の雇用確保を支援するためのハローワークと連携した立地企業の企業説明会などを実施した。 これらの取組により、企業立地の推進が図られた。	引き続き積極的な企業訪問を行い、補助制度や、都市の魅力など本市の強みをPRし、企業立地のさらなる推進に取り組むとともに、フォロー活動における情報交換等を通じて立地企業の状況把握や雇用確保への支援を行う。また、連携中枢都市圏の構成市及び県との連携を図りながら企業立地を促進する。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(2)-①企業立地の推進	KPIについては、企業立地の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、積極的な企業訪問を行い、本市の特性をPRするとともに、テレワーク等を前提とした企業の誘致や業種に応じた支援の在り方を検討するほか、連携中枢都市圏の各自自治体との連携強化を図っていただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26)	7	件 (7年間)																	
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																	
49	100.0%	a																	

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)														
9	(1)しごとで 活力を「つくる」	<p>(3)若い世代をはじめとする雇用機会の拡大</p> <p>③若者、女性、高齢者等の活躍促進</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>426</td> <td>人 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	426	人 (7年間)	<p>本市の助成金を活用して雇用される人数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,712</td> <td>94.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	2,712	94.1%	a	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、トライアル雇用支援金など本市の助成金を活用して若年者等の雇用促進が図られたほか、経営者・管理職向けのセミナーを実施するなど、女性活躍の意義についての理解を深め、その取組を促進した。</p> <p>また、シルバー人材センターの会員数は年々増加傾向にあり、高齢者の就労機会の拡大が図られた。</p> <p>これらの取組により、若者、女性、高齢者等の活躍促進が図られた。</p>	<p>引き続き、助成金の周知広報に努めるとともに、労働局等の関係機関とも連携を図りながら、若い世代をはじめ、女性や高齢者等の就労促進に努める。</p> <p>また、経営者・管理職向けのセミナーや女性管理職を育成、応援するセミナーを継続的に実施し、女性の活躍促進に取り組むとともに、関係部署とも連携を図りながら、女性が働きやすい環境整備に努める。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(2)-②若者、女性、高齢者等の就労支援</p>	<p>KPIについては、若者、女性、高齢者等の活躍促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、助成金を活用して雇用された人の就労状況について追跡調査を行うとともに、雇用のミスマッチ解消に向けた施策を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26)	426	人 (7年間)																	
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																	
2,712	94.1%	a																	

基本目標2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」

<p><摘要>KPIの評価</p> <p>a:十分に達成されている</p> <p>b:概ね達成されている</p> <p>c:あまり達成されていない</p>	<p><摘要>検証会議の意見</p> <p>A:引き続き、現状の取組を推進すべきである</p> <p>B:全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある</p> <p>C:取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
---	--

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
			妊娠・出産・子育ての希望を「かなえる」の達成状況等（R3年度まで）	今後の方向性(考え方)														
<p>基本目標2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」</p>	<p>(1)若い世代の経済的安定 (2)結婚の希望の実現 (3)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 (4)子育て支援の充実 (5)ワーク・ライフ・バランスの普及促進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H25) 5,647</td> <td>37,000</td> <td>人 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H25) 5,647	37,000	人 (7年間)	<p>出生数</p> <p>※平成27年～令和2年実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31,178 *</td> <td>84.3%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	31,178 *	84.3%	a	<p>数値目標については、十分に達成されている。 若い世代の経済的安定に向けた貧困の世代間連鎖の解消にかかる取組は概ね達成されているが、一方で若者の就業支援にかかるKPIについては、あまり達成されていない。 また、結婚の希望の実現に向けた支援、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援やワークライフ・バランスの普及促進に向けた取組は十分に達成されているほか、子育て支援の充実を図るための放課後における児童の健全育成は概ね達成されているが、一方で、子育て支援施設の整備・充実、子育て世帯への経済的支援にかかるKPIについては、あまり達成されていない。</p>	<p>若者の就業支援については、国のトライアル雇用奨励金の活用状況等を踏まえながら市のトライアル雇用支援金の再開を検討する。 待機児童の解消については、定員増による受け皿や潜在保育士の確保に加え、保育士等の処遇改善についても、取組を進める。 子育て世帯の経済的支援については、こども医療費助成制度において中学3年生までは所得にかかわらず現物給付方式導入を引き続き要望するなど、個人の選択を尊重しつつ、若い世代が結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」ことができるよう各方面から支援する取組を展開する。</p>	<p>数値目標については、結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」という基本目標に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、特に若い世代の経済的安定や子育て支援の充実については、全国的な課題でもあることから早期改善に向けた取組の検討を行うなど、結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」取組を展開していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位																
(H25) 5,647	37,000	人 (7年間)																
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																
31,178 *	84.3%	a																

No.	積極戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の達成状況等（R3年度まで）	今後の方向性(考え方)														
10	(2)結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	<p>(1)若い世代の経済的安定</p> <p>①若者の就業支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 134</td> <td>888</td> <td>人 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26) 134	888	人 (7年間)	<p>トライアル雇用支援金を活用して雇用される若年者等の人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>489</td> <td>55.1%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	489	55.1%	c	<p>KPIについては、あまり達成されていない。 これはR元年度の国のトライアル雇用助成金の対象労働者の要件変更により、国の助成金の決定件数が減少したこと、また、R3年度はコロナ禍による財政状況を踏まえ、トライアル雇用支援金の支給対象を制限したためと考えられる。 R3年度までの取組状況としては、トライアル雇用終了後も継続雇用している事業主に対する支援金の支給を行ったほか、高校生を対象とした就職セミナー、学生等を対象とした起業セミナーの開催など着実に進めてきた。 これらの取組により、若者の就業支援、起業支援を図った。</p>	<p>引き続き、若者の就業支援、起業支援に取り組むとともに、トライアル雇用支援金については、国のトライアル雇用奨励金の活用状況や、社会情勢の変化等を踏まえながら検討してまいりたい。 また、若者の職場定着については、関係機関と連携を図りながら状況把握に努め、職場定着に関する国の助成金の広報など、連携した取組を進めていくとともに、高校生や新就職者を対象に開催するセミナー等により、勤労観・職業観の醸成を図る。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 2-(1)-①若者の就業支援</p>	<p>KPIについては、国の助成金の決定件数の減少等により、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、トライアル雇用の活用促進に向け、ハローワークとの連携強化や企業側への周知等を進めるとともに、若者の職場定着の実態や支援制度の活用状況の把握に努め、より効果的な支援策を検討すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26) 134	888	人 (7年間)																	
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																	
489	55.1%	c																	

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)														
11	(2)結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1)若い世代の経済的安定 ②貧困の世代間連鎖の解消 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>488</td> <td>人 (7年間)</td> <td>412</td> <td>84.4%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	—	488	人 (7年間)	412	84.4%	b	就労支援した若者等の就職者数	<p>KPIについては、概ね達成されている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、「生活・就労支援センターかごしま」内の生活自立支援センターとハローワーク窓口の連携により、若者等への就労支援をワンストップで行ったほか、生活困窮世帯・ひとり親家庭等の小学5・6年生及び中学生への学習支援(学習会)を、大学生や教員OB等と協力して実施した。母子家庭等自立支援事業では、医療事務、調剤薬局事務講座の実施や、ひとり親家庭等総合相談会で就労相談等を行い、就業支援を図った。</p> <p>子どもの未来応援事業では、「鹿児島市子どもの未来応援プラン(子どもの貧困対策推進計画)」を策定し、子どもの貧困対策の推進を図る体制を構築した。また、子ども食堂のない地域における子ども支援のきっかけとなるよう、出張子ども食堂を開催した。</p> <p>これらの取組により、ひとり親家庭や生活困窮世帯の若者等の就労活動と子どもの学習の支援が図られた。</p>	<p>「生活・就労支援センターかごしま」によるワンストップでの支援体制を充実するとともに、引き続き、関連施策の広報・周知を進め、関係機関と連携し、取組の推進を図っていく。生活困窮者等の就労状況についても、引き続き、追跡調査を実施する。</p> <p>母子家庭等自立支援事業で実施する講習会については、ひとり親家庭や企業双方でニーズの高い資格を把握し、ひとり親の就業促進を図るため、講座内容の検討を行う。</p> <p>また、子どもが生まれた環境に左右されず、夢や希望を持てる社会の実現を目指す、子どもの未来応援条例(仮称)制定に向けて、市民、関係機関との意見交換を行い、取り組んでいく。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 2-(1)-②貧困の世代間連鎖の解消</p>	<p>KPIについては、貧困の世代間連鎖の解消に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、支援を行った生活困窮者等の就労状況について追跡調査を行うとともに、子どもの学習支援の充実に努めるほか、引きこもりの若者やヤングケアラーに対する支援体制を整えていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)														
—	488	人 (7年間)	412	84.4%	b														
12	(2)結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2)結婚の希望の実現 ①次世代を担う若者への意識啓発 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>4,100</td> <td>人 (6年間)</td> <td>4,394</td> <td>107.2%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	—	4,100	人 (6年間)	4,394	107.2%	a	ライフデザインセミナー参加者数	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>(R2年度末の改訂により、目標値を2,400人から4,100人へ上方修正)</p> <p>R3年度までの取組状況としては、大学・企業等と連携してライフデザインセミナー・シンポジウムを開催し、次世代を担う若者に対し、今後のライフデザインを描けるように意識啓発に取り組んだ。また、R3年度からは、新たに高校生を対象に将来、結婚、家庭を持つことの意義や仕事などをあわせた人生設計について、理解を深めることを目的にセミナーを開催した。</p> <p>これらの取組により、若者の結婚、妊娠、出産、子育てに対する気運の醸成が図られた。</p>	<p>引き続き、幅広い若年層へのライフプランニング支援に努めるなど、結婚、妊娠、出産、子育てに対する気運の醸成に取り組んでいく。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 2-(2)-①次世代を担う若者のライフプランニング支援</p>	<p>KPIについては、次世代を担う若者への意識啓発に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、結婚等に対する男性の関心をさらに高める工夫のほか、年金や税、雇用保険などに関する実践的な情報提供に努めるとともに、対象となる市内高校の拡充を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)														
—	4,100	人 (6年間)	4,394	107.2%	a														
13	(2)結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2)結婚の希望の実現 ②結婚への支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>90</td> <td>%</td> <td>92.4</td> <td>102.7%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	—	90	%	92.4	102.7%	a	婚活事業への参加者の満足度	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、出会いの場の提供のために、各種(趣味で出会うイベント、出会いふれあい企業対抗運動会、出会いサポートイベント)婚活イベントを開催した。</p> <p>結婚相談所の運営を通じて、出会いの場を提供するとともに、マリ－サポートカフェ(少人数制婚活イベント)や、所員のスキルアップ研修、婚活アドバイザーによる専門相談サービスを開始するなど結婚を希望する男女の支援に取り組んだ。</p> <p>また、市営住宅の入居者募集時に、新婚世帯等への優遇措置を講じた。</p> <p>これらの取組により、出会い・結婚の支援の充実が図られた。</p>	<p>引き続き、新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、より効果的な方法等を含め、各種イベントの開催など、出会いの場の提供に積極的に取り組む。結婚相談所については、登録者数や婚約成立数の増加に向け、さらなる周知広報やオンラインによる婚活相談等のサービス向上に努めるほか、利用対象者を連携都市である日置市、いちき串木野市、始良市に拡大するなど、利用促進を図り、結婚を希望する方の婚活をサポートする。</p> <p>また、今後も引き続き、新婚世帯等の市営住宅への入居支援に取り組む。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 2-(2)-②結婚への支援</p>	<p>KPIについては、結婚への支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、結婚相談所について、オンラインも効果的に活用しながら、同感染症収束後を見据えて、登録者が利用・参加しやすい相談体制を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)														
—	90	%	92.4	102.7%	a														

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																	
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)																			
14	(2)結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(3)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27)</td> <td>84.1</td> <td>85 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H27)	84.1	85 %	妊娠出産について満足している者の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87.8</td> <td>103.3%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	87.8	103.3%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R3年度までの取組状況としては、子育て世代包括支援センターの体制整備後も、母子保健支援員や発達支援専門員の配置を行うなど、センターとしての機能の強化を図ってきたところである。 また、妊産婦のメンタルケアとして、産婦健診や産婦支援小児科連携により支援の必要な対象者を地域へつなぐ体制を整えたほか、不妊治療に対する助成に係る上限額の引き上げなどの拡充を進めた。これらの取組により、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実が図られた。	子育て世代包括支援センターの機能をさらに発揮し、関係機関と連携しながら、産後早い時期での産婦健康診査やその後の産婦支援小児科連携事業を実施するなど、実情の把握に努め、地域での切れ目のない支援の充実に取り組む。 これまで同様、妊娠期からのハイリスク家庭の把握及び支援の充実、訪問指導時の問診票等使用によるハイリスク家庭の把握に努め、産科、精神科、小児科等と連携し、支援を行う。また、不妊専門相談センターによるさらなる相談支援の充実を図る。 妊娠・出産への支援に加え、子どもの成長・発達に対する不安を軽減できるように、乳幼児健診の受診率の向上を図る。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 2-(3)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	KPIについては、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、妊娠出産について「満足していない」と回答した理由の分析と改善に努めるとともに、ハイリスク家庭に対する支援の充実を図っていただきたい。	A					
基準値	目標値 (R3)	単位																						
(H27)	84.1	85 %																						
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																						
87.8	103.3%	a																						
15	(2)結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4)子育て支援の充実 ①子育て支援施設の整備・充実 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>47</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>(R元)</td> <td>96.9</td> <td>100 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	47	0 人	(R元)	96.9	100 %	保育所等の待機児童数 保育所等への入所率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>82</td> <td>-74.5%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>94.9%</td> <td>94.9%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	82	-74.5%	c	94.9%	94.9%	KPIについては、あまり達成されていない。 これは、待機児童数については、保育需要が高い状況が続くなか、保育士不足により定員まで受入が出来ていない施設があること、また、入所率については保育士不足や利用申込者数の減少により、定員まで満たない施設があることが要因と考えられる。 R3年度までの取組状況としては、H29年度に西部親子つどいの広場が供用開始され、R2年度からすこやか子育て交流館や、親子つどいの広場の配置人員を増員したほか、元年度に策定した第二期鹿児島市子ども子育て支援事業計画に基づき、認可保育所等において現在までで合計220人分の定員増による受け皿確保を行った。 また、保育士・保育所支援センターにおいては、R3年度までにマッチング数493件に対して採用決定者455人で、潜在保育士の掘り起こしに一定の成果を挙げている。 さらに、保育所等において感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施するための必要経費の助成や保育士確保を図るために保育の仕事の魅力発信イベントの実施やリーフレット・動画作成を行ったほか、新たに保育士等の賃金改善を図るため補助を行うことにより保育士等の処遇改善に取り組んだ。 これらの取組により、子育て支援施設の整備促進や地域の子育て支援機能の充実を図った。	子育て支援施設の整備・充実については、第二期鹿児島市子ども子育て支援事業計画に基づき、待機児童を解消するため、保育所及び幼保連携型認定こども園の定員増等による受け皿確保を行う。 また、保育士・保育所支援センターによる潜在保育士の確保に加え、保育士確保に係る意見交換会や保育士を目指す学生向けのイベントを行うなど、早期の待機児童解消に向けて積極的に取組を進めていくこととし、保育士等の処遇改善についても、国の通知等に基づき取り組む。 地域の子育て支援機能の充実については、親子つどいの広場等における支援のほか、地域子育て支援センターの配置を見直し、よりきめ細やかな支援体制の充実に取り組めるとともに、子育て拠点支援施設職員のスキルアップや施設間の連携を図っていく。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 2-(4)-①子育て支援施設の整備・充実	KPIについては、保育需要の高まりや保育士不足等から、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、保育士の確保に向けて、保育士の就業実態等の把握に努めるとともに、潜在保育士の掘り起こしや保育士の処遇改善をさらに進めるほか、地域によって待機児童数の偏りが生じないように、受け皿となる保育所の拡充を図るべきである。	B
基準値	目標値 (R3)	単位																						
(H26)	47	0 人																						
(R元)	96.9	100 %																						
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																						
82	-74.5%	c																						
94.9%	94.9%																							

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
16	(2)結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4)子育て支援の充実 ②放課後における児童の健全育成 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27)</td> <td>414</td> <td>0 人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H27)	414	0 人	児童クラブの待機児童数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42</td> <td>89.9%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	42	89.9%	b	KPIについては、概ね達成されている。 R3年度までの取組状況としては、待機児童解消のため、計画的にクラブの整備を進めたほか、あわせて、そこで働く支援員等の確保支援及び処遇改善なども図った。 新・郷中教育推進事業では、年次計画に基づき、市内全78校で放課後子ども教室を開設した。 これらの取組により、放課後における児童の健全育成に向けた支援が図られた。	児童クラブについては、引き続き、就学児童数や待機児童数の見込み等から、今後の利用見込みを算出し、余裕教室の活用や専用施設の設置、民間事業者による設置など、計画的なクラブの整備に取り組む。 また、支援員等の確保支援や処遇改善に努めるほか、支援員資格取得の促進や児童育成に必要な研修の実施にも積極的に取り組む。 新・郷中教育推進事業では各小学校に放課後子ども教室を開設できている。今後も、充実した学習や体験・交流活動等に取り組む。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 2-(4)-②放課後における児童の健全育成	KPIについては、放課後における児童の健全育成に向けて、概ね達成されている。 引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、児童クラブについて、引き続き、支援員の確保や処遇改善に努めるとともに、資格取得の促進に向けた方策を検討するほか、計画的に施設整備を進めていただきたい。	A						
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H27)	414	0 人																							
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																							
42	89.9%	b																							
17	(2)結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4)子育て支援の充実 ③子育て世帯への経済的支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H25)</td> <td>19</td> <td>20.4 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H25)	19	20.4 %	出生数に占める第3子以降の割合 ※令和2年実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18.8 *</td> <td>-14.3%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	18.8 *	-14.3%	c	KPIについては、あまり達成されていない。これは、概ね基準値を超えて推移していたが、 <u>新型コロナウイルス感染症の流行による経済面への影響や将来への不安感等が要因と考えられる。</u> R3年度までの取組状況としては、子どもへの保護者に対し、医療費の一部を助成したところであり、R3年4月からは、中学3年生までの医療費助成を、市町村民税非課税世帯について、18歳まで拡充するとともに、医療機関等における窓口負担をなくして実施した。 また、多子世帯への経済的負担軽減を図るとともに、保育所等を利用している3～5歳及び住民税非課税世帯の0～2歳の保育料の無償化を継続したほか、就学・通学の援助、奨学金の貸付による保護者の経済的負担軽減や子育て世帯向けの市営住宅の整備を行った。 これらの取組により、子育て家庭の生活の安定に向けた経済的支援を図った。	今後も引き続き、子育て世帯の経済的負担軽減に努めるとともに、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行う。 また、こども医療費助成制度は、県の補助制度であり、R3年4月から、市町村民税非課税世帯は18歳まで対象を拡充し、現物給付方式(窓口負担ゼロ)としたところである。なお、中学3年生までは、所得に関わらず現物給付方式を導入することを引き続き県へ要望していく。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 2-(4)-③子育て世帯への経済的支援	KPIについては、新型コロナウイルス感染症の流行による経済面への影響等により、あまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、同感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、医療費助成の現物支給方式の導入を積極的に進めていただきたい。	A						
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H25)	19	20.4 %																							
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																							
18.8 *	-14.3%	c																							
18	(2)結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(5)ワーク・ライフ・バランスの普及促進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>472</td> <td>2,100 人 (7年間)</td> </tr> <tr> <td>(H30)</td> <td>88.8</td> <td>94 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	472	2,100 人 (7年間)	(H30)	88.8	94 %	男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・講座の受講者数 時間外勤務の削減に関する取組を実施している企業の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,167</td> <td>103.2%</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	2,167	103.2%	a	—	—		KPIについては、十分に達成されている。 R3年度までの取組状況としては、男女共同参画情報誌を配布し、ワーク・ライフ・バランスの広報啓発を図ったほか、アドバイザー派遣により具体的な取組支援を行うとともに、労働局など関係機関と連携を図りながら、働きやすい職場づくりが望まれる事業所に対してもより効果的な取組となるよう、セミナー開催や先進的な取組事例の情報発信を行った。 また、これまで、別々に開催していた、女性活躍推進セミナーとイクボス推進会議を合同開催し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の先進事例や他企業の取り組みに関する情報の共有を行ったほか、イクボス推進同盟加盟企業・団体数の増加に努め、H29年11月の同盟設立時から大幅に増加(設立時32→R3年度末91)した。 これらの取組により、ワーク・ライフ・バランスの普及促進が図られた。	引き続き、労働局等関係機関と連携を図りながら、ワーク・ライフ・バランスの推進について、男女共同参画情報誌や労政広報紙等による周知・啓発に努めていく。 また、引き続きイクボス推進同盟の参加企業・団体の増加に努めるとともに、他事業と連携した取組を進めるなど、取組内容の充実を図っていく。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 2-(5)仕事と子育ての両立	KPIについては、ワーク・ライフ・バランスの普及促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、講演会・講座についてオンラインによる開催を検討するほか、同感染症収束後を見据え、テレワークが導入可能な業種の把握に努め、仕事と生活を両立しやすい環境整備を推進していただきたい。 また、KPI「男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・講座の受講者数」については、今後、第2期総合戦略を推進する中で、施策の効果をより把握できる指標を検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H26)	472	2,100 人 (7年間)																							
(H30)	88.8	94 %																							
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																							
2,167	103.2%	a																							
—	—																								

基本目標3 まちの魅力を「みがく」

<p><摘要>KPIの評価 a:十分に達成されている b:概ね達成されている c:あまり達成されていない</p>	<p><摘要>検証会議の意見 A:引き続き、現状の取組を推進すべきである B:全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある C:取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
---	--

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
			まちの魅力を「みがく」の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)														
基本目標3 まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 (2)まちなかのにぎわい創出 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H26) 336</td> <td>380</td> <td>万人</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26) 336	380	万人	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> <tr> <td>216.1</td> <td>-272.5%</td> <td>c</td> </tr> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	216.1	-272.5%	c	数値目標については、あまり達成されていない。これは、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、移動の制限や旅行控えの動きが生じたことなどによるものである。</u> R3年度までの取組状況としては、主な施策のうち、「食の都づくり」や「花と緑の回遊空間づくり」については、取組の推進によりKPIは十分に達成されてきている。その他の施策については、「集客力・回遊性の向上」や「鹿児島ファンの拡大」を除いて、コロナ前のR元年度までは、取組の推進によりKPIは十分又は概ね達成されてきていたが、R2年度以降は感染症の影響を受け、あまり達成されていない。 このようなことから、R元年度まで数値目標の宿泊観光客数はR3年の目標値を上回るなど十分に達成されてきていたが、感染症の拡大に伴い、R2年度以降は大きく減少した。	都市の魅力にさらなるみがきをかけるため、オンリーワンの魅力創出、地域特性を生かした創造性豊かな景観の形成・活用、花や緑、公園緑地の充実に取り組み、個性豊かな資源の価値向上を図るとともに、観光客受入体制の充実や、まちなかのにぎわい創出・回遊性向上により、ひとが集うまちなか環境の充実を図るなど、引き続きひとが集うまちの魅力を「みがく」取組を展開し、“誘客力の高さ”と“滞在満足度の高さ”を兼ね備えたまちの創造を目指す。	数値目標については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、宿泊観光客数が大幅に減少したところであり、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、同感染症収束後を見据えた施策も検討しながら、まちの魅力を「みがく」取組を展開すべきである。	B
基準値	目標値 (R3)	単位																
(H26) 336	380	万人																
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																
216.1	-272.5%	c																

No.	積極戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)														
19	(3)まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ①食の都づくり <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>6</td> <td>件 (7年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	-	6	件 (7年間)	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> <tr> <td>6</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	6	100.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R3年度までの取組状況としては、食品関連事業者の育成支援について、新商品開発に対する補助金や商談会に関するセミナーの開催等を行った。 また、民間団体等が実施する“食”のイベントの拡充・促進については、 <u>一部イベントが新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったものの、計画期間を通して目標とする6事業について支援を行った。</u> これらの取組により、食品関連の新商品開発や販路開拓、食に関するイベントの創出が促進され“食の都”づくりの推進が図られた。	食品関連事業者の育成支援については、新たに食品加工に取り組みようとする事業者に対するセミナーの開催などに引き続き取り組み、新商品開発等を促進していく。 また、食のイベントの拡充・促進についても、補助期間が継続中の2事業に対して引き続き支援を行うなど、本市の個性豊かな資源の一つである食の魅力活用を図る。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 3-(1)-①オンリーワンの魅力創出	KPIについては、食の都づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、食品関連事業者の育成支援を行うほか、イベントについては、同感染症対策を踏まえた形態での事業やより効果が期待できる首都圏等での開催を検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
-	6	件 (7年間)																	
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																	
6	100.0%	a																	

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価														
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)																
20	(3)まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ②歴史、自然等を生かした観光の振興	入込観光客数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>950</td> <td>1,050</td> <td>万人</td> <td>507.1</td> <td>-442.9%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	(H26)	950	1,050	万人	507.1	-442.9%	c	<p>KPIについては、あまり達成されていない。これは、<u>新型コロナウイルス感染症の影響により、移動の制限や旅行控えの動きが生じたことなどによるものである。</u></p> <p>R3年度までの取組状況としては、平成30年の大河ドラマ館の設置・運営や鹿児島マラソンの実施、鹿児島ユナイテッドFC等が行う本市観光PR活動等に対して支援のほか、平川動物公園の新型園内バスの運行や新コアラ館の供用開始、かごしま水族館において、360度カメラを用いたVRによる映像の配信などを実施した。また、第2期グリーン・ツーリズム推進計画に基づき、グリーン・ツーリズムも着実に推進され、さらに感染症収束後の観光需要回復を見据えて、ユニバーサルツーリズムのニーズ・課題等の調査に取り組みやeスポーツへの取組の方向性について検討を進めた。</p> <p>こうした取組により、コロナ前のH30年にはKPIの入込観光客数は概ね達成されるなど、堅調に推移してきたが、R2年以降は感染症拡大に伴う、鹿児島マラソンの中止や、第75回国民体育大会・第20回全国障害者スポーツ大会の開催延期などにより、大きく減少した。</p>	<p>本市の個性豊かな資源の価値の向上を図るため、引き続き自然、歴史・文化などの魅力活用や体験型観光の推進、海を生かした回遊性向上の検討、誘客力のある観光イベントの創出・充実、プロスポーツチームの育成支援など、本市ならではのオンリーワンの魅力創出に取り組む。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 3-(1)-①オンリーワンの魅力創出</p>	<p>KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響による移動制限等が生じたことから、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、同感染症の影響によりインバウンドが伸び悩んでいる間は、他の自治体と連携しながら国内の交流人口の拡大を図るとともに、社会情勢の変化や消費者のニーズ等を踏まえ、柔軟に対応できるよう工夫を重ねながら施策を推進すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																
(H26)	950	1,050	万人	507.1	-442.9%	c															
21	(3)まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ③花と緑の回遊空間づくり	都市公園の市民一人当たり面積	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27)</td> <td>7.62</td> <td>7.94</td> <td>m²</td> <td>7.95</td> <td>103.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	(H27)	7.62	7.94	m ²	7.95	103.1%	a	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、市立病院跡地において、公園の魅力向上や維持管理費等の低減を図ることを目的に民間活力を導入するPark-PFI制度を県内で初めて活用し、「加治屋まちの杜公園」を整備したほか、鹿児島中央駅周辺において、鹿児島らしい花木や草花を用いた植栽を行い、南国・鹿児島を感じさせる都市空間を創出するなど、概ね計画通りに進捗しており、KPIについても、一貫して十分に達成されている。</p> <p>これらの取組により、「南国・鹿児島を感じる空間」の創出や賑わいの創出が図られた。</p>	<p>本市の個性豊かな資源の価値向上を図るため、関係機関と連携し、計画的な事業進捗に努め、引き続き、花や緑、公園緑地の充実に取り組む。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 3-(1)-③花や緑、公園緑地の充実</p>	<p>KPIについては、花と緑の回遊空間づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、城山公園自然の森の再生に取り組むほか、加治屋まちの杜公園で活用しているPark-PFI制度について評価のフォローを行っていただきたい。</p> <p>また、KPIについては、今後、第2期総合戦略を推進する中で、施策の効果をより把握できる指標を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																
(H27)	7.62	7.94	m ²	7.95	103.1%	a															
22	(3)まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ④潤いのある都市景観の形成	景観形成に関する意見交換会等の延べ参加者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>200</td> <td>人 (2年間)</td> <td>105</td> <td>52.5%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	-	200	人 (2年間)	105	52.5%	c	<p>KPIについては、あまり達成されていない。これは、<u>感染症の影響により、市民教室や景観アドバイザー派遣による勉強会の開催を見送ったことによるものである。</u></p> <p>R3年度までの取組状況としては、元年度までのKPI「景観形成重点地区」については、H30年度で目標値5地区を達成し、R3年度に「慈眼寺公園周辺地区」を指定したことにより、6地区となり、十分に達成されている。また、各地区の自然景観の魅力などの周知を図るため、地区内に設置する案内板に、市ホームページのQRコードを記載し、英文など日本語以外の言語による説明が閲覧できるようにするなど、効果的な広報に努め、「慈眼寺公園周辺地区」については、R5以降に設置予定)補助金についても主に指定した地区の住民等へ周知を図った。指定候補地においては住民等の景観への深い理解のもと、自らの基準づくりと継続的な景観まちづくり活動が望ましいことから、地元への働きかけ等においては、丁寧な説明を行った。</p> <p>これらの取組により、各地区の自然景観の魅力促進を図った。</p>	<p>市景観計画に位置付けられている景観形成重点地区候補地において地元との協議等を重ね、市民等との協働による取組を推進し、景観づくりに係る合意が図られた後は、景観形成重点地区の指定を目指す。景観形成に対する市民意識の高揚を図る目的で開催するイベント等については、感染症の影響を踏まえ、感染防止策の徹底(リモート等)により開催する。</p> <p>また、指定した地区における支援(補助金等)について、現行の交付要件等の検討を行うとともに、関係部局との連携や効果的な情報発信を図るなどして、潤いある都市景観の形成に務める。</p> <p>(本市施策の第2期総合戦略における位置づけ) 3-(1)-②地域特性を生かした創造性豊かな景観の形成・活用</p>	<p>KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響により勉強会等の開催を見送ったことから、あまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、同感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、住民等との協働による取組を進めるとともに、景観形成に対する市民意識の高揚に向けて効果的な情報発信に取り組んでいただきたい。</p>	A	
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																
-	200	人 (2年間)	105	52.5%	c																

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																	
				施策の達成状況等（R3年度まで）	今後の方向性(考え方)																			
23	(3)まちの魅力を「みがく」	(1)鹿児島オリジナルの魅力向上 ⑤“鹿児島ファン”の拡大 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H30)</td> <td>55.5</td> <td>60.5 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H30)	55.5	60.5 %	「友人・知人に鹿児島市を勧めたい」と思う市民の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55.3</td> <td>-4.0%</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	55.3	-4.0%	C	KPIについては、あまり達成されていない。 R3年度までの取組状況としては、シビックプライド醸成や地域のキーパーソンと関わりながら本市の多彩な魅力を知り、磨き、発信する機会づくりの創出、関係機関等の意見交換等を行った。 「⑤“鹿児島ファン”の拡大」についてはR2年度に追加した項目であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や外出自粛など、まちを推奨するきっかけとなる体験機会が減少したため、2年にわたりKPIの目標値を下回っているが、これらの取組により、ブランドメッセージの推進・拡大や第2期シティプロモーション戦略ビジョンの策定等の取組の推進を図った。	第2期鹿児島市シティプロモーション戦略ビジョンに基づき、特に重点的に取り組む戦略を定め、庁内外と連携したより積極的なシティプロモーションを展開する。 関係人口の出現率が高く、地方や自然への関心が高まっている市内外の20～30代をメインターゲットにプロモーションを推進する。 市・市民・団体等・関係人口のネットワーク化を図る。 (本市施策の第2期総合戦略における位置づけ) 重点2-(2)関係人口の創出・拡大	KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、体験機会が減少したことから、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、「本市を勧めたいと思わない」と回答した理由を分析した上で、体験機会の提供や効果的な情報発信を通じて、市民が本市の魅力を感じられるよう工夫すべきである。	B					
基準値	目標値 (R3)	単位																						
(H30)	55.5	60.5 %																						
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																						
55.3	-4.0%	C																						
24	(3)まちの魅力を「みがく」	(2)まちなかのにぎわい創出 ①集客力・回遊性の向上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>16</td> <td>17.1 万人</td> </tr> <tr> <td>(H28)</td> <td>18.7</td> <td>20.6 万人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	16	17.1 万人	(H28)	18.7	20.6 万人	中心市街地の歩行者通行量 カゴシマシティビューの乗客数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12.4</td> <td>-327.3%</td> <td rowspan="2">C</td> </tr> <tr> <td>10.3</td> <td>-442.1%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	12.4	-327.3%	C	10.3	-442.1%	KPIについては、あまり達成されていない。これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う移動の制限等により、人流が大幅に抑制されたことによるものである。 R3年度までの取組状況としては、路面電車観光路線については、基本計画策定委員会を開催し、ルート案について協議し、4つのルート案を設定（R2年3月）したほか、本港区エリアの施設整備の検討状況を把握するために、県と意見交換を行ってきた。 天文館ミリオネーションについては、H27年度からR3年度までで延べ約110万人の来場があり、冬期の滞在型観光を推進し、まちなかのにぎわい創出に寄与した。 「かごりん」についてはH27年3月の事業開始から3年末までで延べ1,136,096回の利用があり、まちなかの回遊性向上などに寄与した。 これらの取組により、中心市街地のにぎわい創出とまちなかの回遊性向上の推進を図った。	路面電車観光路線については、本港区エリアの施設整備の動向を踏まえ、検討を行う。 天文館ミリオネーションについては、天文館地区の飲食店や通り会などと連携したイベントの拡大に努めるなど、冬季イベントの風物詩として定着するよう取り組むとともに、まちなかの回遊性の向上を図る。 「かごりん」については、まちなかの回遊性向上への効果が期待されるため、市民や観光客等による利用促進につながるよう、引き続き情報発信を行い、また新システムを導入することにより、更なる利便性の向上につなげた。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 3-(2)-①観光客受入体制の充実 3-(1)-①オンリーワンの魅力創出 3-(2)-②まちなかのにぎわい創出・回遊性向上	KPIについては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う移動の制限等により、人流が大幅に抑制されたことから、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、かごりんについて、引き続き、効果的な情報発信を行うとともに、新システムの導入によるさらなる利便性向上を図るほか、同感染症収束後の集客力・回遊性の向上に向けた方策について検討すべきである。	B
基準値	目標値 (R3)	単位																						
(H26)	16	17.1 万人																						
(H28)	18.7	20.6 万人																						
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																						
12.4	-327.3%	C																						
10.3	-442.1%																							
25	(3)まちの魅力を「みがく」	(2)まちなかのにぎわい創出 ②新たな都市拠点の形成 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H24)</td> <td>121.4</td> <td>122.5 万人以上</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>120</td> <td>件/年</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H24)	121.4	122.5 万人以上	-	120	件/年	JR鹿児島駅の乗降客数 「かんまちあ」で開催されるイベント数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>103.3</td> <td>-1645.5%</td> <td rowspan="2">C</td> </tr> <tr> <td>142</td> <td>118.3%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	103.3	-1645.5%	C	142	118.3%	KPIについては、「かんまちあ」で開催されるイベント数は十分に達成しているものの、JR鹿児島駅の乗降客数は、あまり達成されていない。JR鹿児島駅の乗降客数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動の制限等により、人流が抑制されたことによるものと考えられる。 R3年度までの取組状況としては、鹿児島駅周辺については、H28年度に上町ふれあい広場及び上町の杜公園、R元年度に新駅舎、R2年度に自由通路、R3年度に駅前広場等の供用を開始したほか、かんまちあでのイベント数は順調に増えていたものの、R2年度から同感染症の影響により減少したが、目標値は達成した。 また、本港区の整備については、県が平成30年度にランドデザインを公表した後、令和2年度末から事業者公募を開始する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により民間事業者の公募に向けた提案内容の検討に支障が生じていることから延期。コンベンション・展示機能を備える施設に係る整備可能性調査、スポーツ・コンベンションセンター基本構想の策定を経て、現在、ランドデザインにもとづくまちづくりについて、県市で継続的に意見交換を行っている。 さらに、市街地再開発事業については、R2年度に中央町19・20番街区、R3年度に千日町1・4番街区の再開発ビルが完成した。 これらの取組により、新たな都市拠点の整備やにぎわいの創出が図られた。	中央町19・20番街区及び千日町1・4番街区での市街地再開発事業と鹿児島駅周辺整備事業が完了したことから、今後はこれらの整備効果を活かしながら、広域的な拠点形成をさらに進め、にぎわいの創出と回遊性の向上を図り、中心市街地全体の活性化につなげていく。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 3-(2)-②まちなかのにぎわい創出・回遊性向上	KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、JRの乗降客数が減少したことから、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況はある。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、鹿児島駅周辺整備完了後の人の流れの変化を把握しながら、同駅周辺地区のさらなる魅力向上に努めるとともに、近接する本港区との連携についても検討すべきである。	B
基準値	目標値 (R3)	単位																						
(H24)	121.4	122.5 万人以上																						
-	120	件/年																						
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																						
103.3	-1645.5%	C																						
142	118.3%																							

基本目標4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」

<p><摘要>KPIの評価</p> <p>a:十分に達成されている</p> <p>b:概ね達成されている</p> <p>c:あまり達成されていない</p>	<p><摘要>検証会議の意見</p> <p>A:引き続き、現状の取組を推進すべきである</p> <p>B:全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある</p> <p>C:取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
---	--

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価							
			ひと・まちを多彩に「つなぐ」の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)									
基本目標4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり (2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 (3)移住の促進 (4)都市間の交流・連携	国内外の交流都市数	<table border="1"> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> <tr> <td>25</td> <td>80.0%</td> <td>b</td> </tr> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	25	80.0%	b	数値目標については、概ね達成されている。 R3年度までの取組状況としては、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成は十分達成されているとともに、ストックマネジメントの強化は概ね達成されており、人口減少等を見据えた持続可能なまちづくりの推進が図られた。 市民一人ひとりが力を発揮し、互いに支え合う温もりのある地域社会の形成に向けた地域コミュニティの形成は十分に達成されているが、一方で、協働によるまちづくりに係るKPIについては、あまり達成されていない。 また、移住希望者の多様なニーズに対応した支援による本市への移住促進や国内の都市との多様な交流・連携は十分に達成されている。一方で、国際交流に係るKPIはあまり達成されていないものの、オンラインによる交流をはじめ市民や事業者と連携しながら、新型コロナウイルス感染症の影響下においても可能な取組を行うことで推進が図られた。	今後の方向性(考え方) 協働によるまちづくりについて、既存のNPOが休眠状態に陥らないよう、新型コロナウイルス感染症などの影響を踏まえた支援や、NPO等の相互連携の促進が図られるよう支援のあり方を検討していくほか、国際交流の推進については、同感染症収束後の交流に向けた継続的な協議や市民主体の国際交流活動の促進に向けた取組をさらに進めていくなど、引き続き、持続性と発展性を備えたまちを将来世代に引き継いでいくため、ひと・まちを多彩に「つなぐ」取組を展開する。	数値目標については、ひと・まちを多彩に「つなぐ」という基本目標に向けて、概ね達成されている。全般的には推進すべきだが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、同感染症の影響下においては、オンラインやSNSを積極的に活用するとともに、同感染症収束後を見据えた施策も検討しながら、ひと・まちを多彩に「つなぐ」取組を展開すべきである。	B
		実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)									
25	80.0%	b											
<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H27) 21</td> <td>26以上</td> <td>都市</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H27) 21	26以上	都市							
基準値	目標値 (R3)	単位											
(H27) 21	26以上	都市											

No.	適応戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価							
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)									
26	(1)ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり ①都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成	「日常生活における生活利便施設が整備されている」と感じる市民の割合 公共交通不便地対策の実施地域数	<table border="1"> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	—	—	a	KPIについては、「公共交通不便地対策の実施地域数」は十分に達成されている。また、「日常生活における生活利便施設が整備されていると感じる市民の割合」は、3年度においては調査がなかったところである。 R3年度までの取組状況としては、立地適正化計画は、策定・一部変更を行い、推進協議会等を開催して進捗管理を行った。 公共交通ビジョンは、学識経験者、交通事業者、行政等で構成する会議において、事業の進捗管理等を行ってきたほか、R3年度は新たに第二次公共交通ビジョンを策定した。 公共交通不便地対策は、H27年度に選定した公共交通不便地についてコミュニティバス及び乗合タクシーの運行を開始した。また、R3年度においては、利用者数の少ない小野・伊敷地域のコミュニティバスを乗合タクシーに切替えるとともに、谷山、谷山北部、谷山南部及び小原地域の利用者数の少ない便の減便等を行った。 これらの取組により、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成の推進が図られた。	立地適正化計画については、推進協議会等を開催し、届出対応等による住宅建築や誘導施設の動向把握を行うとともに、令和5年度の見直しに向けて、法改正や第二次都市マスを踏まえながら検討を行う。 公共交通ビジョンについては、新たに策定した第二次ビジョンの着実な推進に向け、学識経験者、交通事業者、行政等で構成する推進会議を開催し、事業の進捗状況の把握や調整等を行う。 公共交通不便地対策では、引き続き公共交通不便地における日常生活の交通手段を確保するとともに、交通手段の最適化を検討する。 KPI「公共交通不便地対策の実施地域数」については、現在対策を実施している地域で、対策を継続することを目指すとしている。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 4-(1)-①都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成	KPIについては、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、公共交通不便地対策について、運行計画等の変更の際に、地域との対話・調整を行うとともに、コミュニティバスや乗合タクシーが利用しやすくなるよう、さらに工夫していただきたい。	A
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)												
—	—	a												
<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(H28) 68.7</td> <td>73.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>(H26) 12</td> <td>16</td> <td>地域</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H28) 68.7	73.0	%	(H26) 12	16	地域					
基準値	目標値 (R3)	単位												
(H28) 68.7	73.0	%												
(H26) 12	16	地域												

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)																		
27	(1)ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり ②ストックマネジメントの強化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>14</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>20</td> <td>144 件 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	-	14	施設	(H26)	20	144 件 (7年間)	公共施設配置適正化画に基づく事業完了施設数 危険空き家の解体への助成件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>50.0%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>163</td> <td>113.2%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	7	50.0%	b	163	113.2%	<p>KPIについては、概ね達成されている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、公共施設配置適正化計画に基づく、建替え等の事業が7施設で完了したほか、空き家等の対策の強化、良質な住宅ストックの形成の促進とともに、これまで充実させてきた施策に取り組んできたところであり、危険空き家の解体への助成件数の実績は、目標値を上回った。また、計画に基づき既存市営住宅の建替、改善を実施し、良質な住宅ストック形成の促進が図られた。</p> <p>団地再生では、H29年度から団地再生推進庁内検討会を設置し、団地再生の手法や具体策を検討するとともに、地域住民等とのワークショップ等を行った。また、R2年度に「かごしま団地みらい創造プラン」を策定し、R3年度以降、同プランに基づき、対象の29団地に対して、地域住民等との意見交換や、具体的な支援を始めており、地域主体による住宅団地の活性化に向けた取組の促進が図られた。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 4-(1)-②ストックマネジメントの強化 ③住宅団地の活性化</p>	<p>KPIについては、ストックマネジメントの強化に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、危険空き家への解体助成について制度のさらなる周知を図るほか、団地再生については、若い世代を入れた団地再生ワークショップのさらなる充実を図っていただきたい。</p> <p>また、KPI「公共施設配置適正化計画に基づく事業完了施設数」については、今後、第2期総合戦略を推進する中で、施策の効果をより把握できる指標を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位																					
-	14	施設																					
(H26)	20	144 件 (7年間)																					
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																					
7	50.0%	b																					
163	113.2%																						
28	(1)ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ①地域コミュニティの形成 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>3</td> <td>79 団体</td> </tr> <tr> <td>(H30)</td> <td>50</td> <td>79 団体</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	3	79 団体	(H30)	50	79 団体	地域コミュニティ協議会数 地域コミュニティプランに基づき活動する協議会数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>79</td> <td>100.0%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>79</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	79	100.0%	a	79	100.0%	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、R2年度までに全79団体の地域コミュニティ協議会の設立が完了したほか、プラン策定等の活動支援により、R3年度には、全団体においてコミュニティプランの策定が完了した。</p> <p>これらの取組により、地域活動を支える人材育成等を推進し、住民主体の地域づくりの促進が図られた。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 4-(2)-①住民主体の地域づくりの促進</p>	<p>KPIについては、地域コミュニティの形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、世代間で偏りが生じないよう、誰もが参加しやすい組織づくりを進めるほか、地域を支える人材育成に向けた活動の充実を図っていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位																					
(H26)	3	79 団体																					
(H30)	50	79 団体																					
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																					
79	100.0%	a																					
79	100.0%																						
29	(1)ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ②協働によるまちづくり <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>396</td> <td>430 団体</td> </tr> <tr> <td>(H30)</td> <td>12</td> <td>24 件 (2年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	396	430 団体	(H30)	12	24 件 (2年間)	市内のNPO法人数 NPO等が行う活動への助成件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>359</td> <td>-108.8%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>79.2%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	359	-108.8%	c	19	79.2%	<p>KPIについては、「市内のNPO法人数」はあまり達成されていない一方、NPO等が行う活動への助成件数は、<u>コロナの影響により市民活動団体の活動制限もある中、概ね達成されている。</u></p> <p>本市のNPO法人数については、人口規模が同程度の中核市と比べても突出して多く、H25年度までは増加傾向であったが、H26年度以降は、一定の数で推移しており、近年は減少傾向にある。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、市民活動団体の活動に必要なノウハウの習得の支援や資金面での支援を行ってきたところであり、<u>コロナ禍の影響により、一部の団体で活動の中止、制限があったようではあるものの、市民活動の促進を図った。</u></p> <p>今後とも、市民活動団体への助成や多様な主体による連携促進を図るとともに、市民活動団体の情報を市としても積極的に発信していくなど、市民活動促進のための取組を継続していく。</p> <p>これまでの検証会議の意見でもあったとおり、既存のNPOが休眠状態に陥らないよう、コロナなどの感染症の影響を踏まえた支援や、NPO等の相互連携の促進が図られるよう支援のあり方を検討する。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 4-(2)-②市民との協働の推進</p>	<p>KPIについては、本市のNPO法人数が近年は減少傾向にあることから、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、本市のNPO法人数の動向等を調査・分析するとともに、県と連携しながら早急に市民活動団体へのヒアリングを行い、ニーズに応じた支援策を講じるべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R3)	単位																					
(H26)	396	430 団体																					
(H30)	12	24 件 (2年間)																					
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																					
359	-108.8%	c																					
19	79.2%																						

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																	
				施策の達成状況等（R3年度まで）	今後の方向性(考え方)																			
30	(1)ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(3)移住の促進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H30) 97</td> <td>130</td> <td>件/年</td> </tr> <tr> <td>(H28) 17</td> <td>50</td> <td>人/年</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H30) 97	130	件/年	(H28) 17	50	人/年	移住セミナー等における延べ面談件数 本市の関連施策を通じた移住者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>153</td> <td>117.7%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>203</td> <td>406.0%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	153	117.7%	a	203	406.0%	KPIについては、十分に達成されている。 R3年度までの取組状況としては、移住推進に係る取組については、H30年度に移住支援コーディネーターを配置し、移住希望者のニーズに合わせた情報提供や相談対応、移住後のフォローアップ等を行った。 また、R元年度に開設したポータルサイト等を活用して、本市の魅力や生活環境の効果的な情報発信を行ったほか、2年度には、オンライン相談の実施やIJU倶楽部会員特典サービス、移住奨励金の創設など、各種施策に積極的に取り組み、本市への移住促進が図られた。	引き続き、移住情報の提供のほか、相談・受入体制や移住支援制度の充実など、移住希望者の多様なニーズに対応した支援に取り組み、本市への移住を促進する。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 4-(4)移住の促進	KPIについては、移住の促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、移住希望者のニーズの把握と移住後のフォローアップ体制の充実を図るとともに、本市の魅力発信や他都市における移住者の動向、取組事例の把握・分析に努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																						
(H30) 97	130	件/年																						
(H28) 17	50	人/年																						
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																						
153	117.7%	a																						
203	406.0%																							
31	(1)ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4)都市間の交流・連携 ①国際交流の推進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 11,523</td> <td>13,200</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26) 11,523	13,200	人	国際交流事業への参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,613</td> <td>-590.9%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	1,613	-590.9%	c	KPIについては、あまり達成されていない。これは、多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止または縮小されたことによるものである。 R3年度までの取組状況としては、姉妹友好都市をはじめとする多くの国々の都市との多彩な交流の推進、次代を担う国際性豊かな人材の育成に取り組んだところであり、令和元年度は新たにストラスブール市とパートナーシップ協定を締結するなど姉妹友好都市等との交流を推進した。 また、令和2年度は、本市の国際交流の拠点施設として国際交流センターの供用を開始し、各種事業やイベントの開催により市民主体の国際交流活動の促進したほか、ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略の推進に取り組んだ。 往来を伴う交流が難しい状況の中、オンラインによる交流をはじめ市民や事業者と連携しながら、感染症の影響下においても可能な取組を行うことで、国際交流の推進を図った。	姉妹友好都市等との交流については、オンライン等を活用した交流を引き続き行うとともに、新型コロナウイルス感染症収束後の交流についても継続的に協議を行う。 また、国際交流センターを拠点とした各種事業やイベントを通じた市民と外国人との交流機会の充実など、市民主体の国際交流活動の促進に向けた取組をさらに推進する。 本市における“アジアの日常化”に向け、未来を担う子どもたちや若者を主なターゲットとして、今後とも多文化共生の地域づくりなどアジア戦略に掲げる取組を推進する。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 4-(3)-①国際交流の推進 4-(2)-③多文化共生の推進	KPIについては、多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止または縮小されたことにより、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、感染症の影響により交流が困難な間は、オンライン交流やSNSを活用した情報発信など取組を工夫するほか、感染症収束後に備え、対面による交流に向けた準備を進めるべきである。	B					
基準値	目標値 (R3)	単位																						
(H26) 11,523	13,200	人																						
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																						
1,613	-590.9%	c																						
32	(1)ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4)都市間の交流・連携 ②国内の都市との多様な交流・連携 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 19</td> <td>25</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26) 19	25	件	都市間連携に係る実施事業数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>116.7%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	26	116.7%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R3年度までの取組状況としては、R2年度までに、交流協定都市との周年事業やクリエイティブ産業振興の取組など新たな連携事業を実施してきたほか、R3年度は、熊本市、福岡市、北九州市への職員派遣や、パートナーシップ宣誓制度に関する協定の締結など新たな取組を行った。 交流が難しい状況の中、オンラインを活用し、新型コロナウイルス感染症の影響下においても可能な取組を行うことで、都市間の交流・連携が図られた。	アフターコロナにおける本市の魅力の情報発信、交流人口の拡大を図るため、既存の交流都市との事業推進及び他都市との新たな連携交流の可能性について引き続き検討を行う。 また、観光や産業、環境等の分野においても、官民連携の取組を中心に検討を進める。 (本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 4-(3)-②国内の都市との連携・交流の推進	KPIについては、国内の都市との多様な交流・連携に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、他都市との連携を一層進めるとともに、都市間交流に関する市民の認知度の把握を行い、積極的な情報発信に取り組んでいただきたい。	A					
基準値	目標値 (R3)	単位																						
(H26) 19	25	件																						
実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																						
26	116.7%	a																						

重点戦略

<p><概要>KPIの評価 a: 十分に達成されている b: 概ね達成されている c: あまり達成されていない</p>	<p><概要>検証会議の意見 A: 引き続き、現状の取組を推進すべきである B: 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある C: 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
---	--

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																			
				施策の達成状況等 (R3年度まで)	今後の方向性(考え方)																					
33	1 世界基準の観光地域づくり	(1)世界に誇りうる地域資源の活用、(2)外国人観光客の誘致・受入体制の整備	外国人宿泊観光客数	<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>12</td> <td>万人</td> <td>0.8</td> <td>-62.2%</td> <td>c</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	(H26)	12	万人	0.8	-62.2%	c	<p>KPIについては、あまり達成されていない。これは、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴う水際対策の徹底に加え、移動の制限や旅行控えの動きが生じたことによるものである。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、世界に誇りうる地域資源の活用については、磯新駅について、事業主体となる磯新駅設置協議会が設立され、同協議会とJR九州との間で基本協定及び実施協定が締結された。さらに、ジオパークについては、世界ジオパーク認定に向けて進めてきたエリア拡大が認定された。</p> <p>外国人観光客の誘致・受入体制の整備については、コンベンション協会に対してDMO設立に向けた組織・人員体制の充実を支援し、DMO推進プランに基づく官民連携事業が進められたほか、市場に応じた効果的なプロモーションや外国人観光客のニーズに応じた受入体制の整備が図られた。こうした取組を通じ、R元年までKPIの外国人宿泊観光客数については順調に増加し、R元年は約493,000人と過去最高となるなど十分に達成されていたが、感染症の拡大に伴い、R2年以降は激減した。</p>	<p>引き続き、世界文化遺産の活用やJR磯新駅の設置促進、世界ジオパーク認定に向けた取組の推進など、世界に誇れる個性豊かな観光資源を生かしながら、戦略的なプロモーションの展開や人材を育成することなどにより、インバウンド対応の強化を図り、「世界に選ばれるまち KA GOSHIMA」づくりを目指す。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 3-(1)-①オンリーワンの魅力創出 3-(2)-①観光客の受入体制の充実 重点1-(1)インバウンド対応の強化</p>	<p>KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響による移動制限等が生じたことから、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、同感染症収束後を見据えた外国人観光客のターゲット設定を行い、ニーズや特性を踏まえた取組を進めるとともに、他の自治体と連携しながら来訪者の利便性向上を検討すべきである。</p>	B						
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																					
(H26)	12	万人	0.8	-62.2%	c																					
34	2 健“高”医“良”都市の創造	(1)健康と生きがいを実感できる市民生活の提供	<p>新たなヘルスケアビジネスの展開に取り組む事業者数</p> <p>介護保険サービスの総給付費に占める在宅サービス費の割合</p>	<table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>8</td> <td>事業者 (7年間)</td> <td>73</td> <td>109.0%</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>51.7</td> <td>%</td> <td>56.0</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	(H26)	8	事業者 (7年間)	73	109.0%	a	(H26)	51.7	%	56.0	100.0%		<p>KPIについては十分に達成されている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、健康寿命延伸や地域包括ケアシステムの構築に資するヘルスケアビジネス創出の促進が図られたほか、生涯活躍のまち構想・基本計画の策定・推進については、喜入地区における、生涯活躍のまち形成事業に取り組む事業主体を支援することで、中高年齢者等の社会活動への参加によるコミュニティ形成や、医療・介護サービス事業への雇用創出が図られた。</p> <p>また、高齢者の相談・支援体制の構築、生活援助を行うボランティア団体や地域で介護予防活動を展開する団体の支援等を行うことで地域包括ケアの推進が図られたほか、市立病院では地域医療支援病院として、他の医療機関との連携や地域で必要な医療を確保するための医療機関相互の機能分化の推進が図られた。</p>	<p>引き続き、健康寿命延伸や地域包括ケアシステムの構築に資するヘルスケアビジネス創出を図るため、関係機関と連携しながら、ビジネスアイデアの創出とその事業化支援に取り組む。</p> <p>「生涯活躍のまち」については、国の第2期総合戦略において、全世代・全員活躍型のコミュニティづくり施策として、位置づけが見直されたことから、今後は、移住施策を含めた、本市の第2期総合戦略に基づく各種施策を分野横断的に推進する。</p> <p>地域包括ケアの中核的役割を担う地域包括支援センターの機能を強化するなど、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスの一体的な提供体制の充実・強化を図るほか、アフターコロナの視点を踏まえ、引き続き介護予防やフレイル予防に取り組んでいく。</p> <p>市立病院では地域医療支援病院として、地域の医療機関との医療連携や相互の機能分化を推進するため、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、医療機関への訪問だけでなく、オンライン会議等の取組も充実していく。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 1-(1)-②新事業・新産業の創出支援 ※上記の主な取組内容のうち、「①ヘルスケア分野に関する新たな産業の創出」のみ</p>	<p>KPIについては、健康と生きがいを実感できる市民生活の提供に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、「生涯活躍のまち」形成について、期間満了に伴う計画の総括を行い、国の戦略における位置づけを踏まえた取組を進めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																					
(H26)	8	事業者 (7年間)	73	109.0%	a																					
(H26)	51.7	%	56.0	100.0%																						

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の達成状況等（R3年度まで）	今後の方向性(考え方)																				
35	3 大学との連携強化とふるさと教育の推進	(1)大学との連携強化	市内大学生の県内就職率 市内6大学との新規連携事業・取組数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 61.7</td> <td>69.7</td> <td>%</td> <td>62.8</td> <td>13.8%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>51</td> <td>件 (5年間)</td> <td>82</td> <td>160.8%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	(H26) 61.7	69.7	%	62.8	13.8%	b	—	51	件 (5年間)	82	160.8%	<p>KPIについては、概ね達成されている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、H28年度までに市内全大学との連携協定の締結を行い、H29年度には大学連携ネットワーク会議を設置し、連携事業に関するノウハウや情報の共有等を図っている。</p> <p><u>各大学との連携事業・取組については、R2年度及びR3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となったものもあったが、毎年度新たな取組も始まるなど、充実に図られた。</u></p>	<p>大学等の特色を生かした共同研究や学生のまちづくりへの関心を高める取組を進めるなど、さまざまな分野において、各大学との連携事業・取組をさらに充実させる。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 重点2-(1)ふるさと教育の推進と大学との連携強化</p>	<p>KPIについては、大学との連携強化に向けて、概ね達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、地元で活躍できる人材育成に取り組むとともに、同感染症の影響を踏まえた効果的な事業の実施方法について検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																				
(H26) 61.7	69.7	%	62.8	13.8%	b																				
—	51	件 (5年間)	82	160.8%																					
36	3 大学との連携強化とふるさと教育の推進	(2)ふるさと教育の推進	郷土教育に係る体験活動の実施率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 90.6</td> <td>100</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	(H26) 90.6	100	%	100.0	100.0%	a	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、<u>地域人材等の授業への参画、職場体験活動については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施回数や実施期間を縮小して実施したものもあったが、各学校で工夫し、活動内容の充実を図りながら取り組むことができた。</u></p> <p>「かごしま創志塾」「ジュニア創志塾」では、国内外で活躍されている講師や郷土出身の著名人による講話や郷土に関するフィールドワークやALTとの交流などの体験活動や学習活動を通して、郷土教育やグローバルな視野を広げる学習の充実に図られた。また、塾生同士が郷土への愛着心や誇りを持ち続けるためのネットワーク体制の構築に努めた。</p> <p>これらの取組により、まちづくりの担い手となる人材の育成に向けたふるさと教育の推進が図られた。</p>	<p>郷土教材の活用や地域人材等の授業への参画、職場体験活動については、小学校から高等学校までの各ステージに応じた取組をさらに充実させていく。併せて、アフターコロナを見据えて、対面と非対面のそれぞれの良さを生かした学習活動の構築に努めながら、「ふるさと・鹿児島」への誇りと愛着の心を育む取組を引き続き進める。</p> <p>「かごしま創志塾」「ジュニア創志塾」については、引き続き魅力あるプログラムを提供するとともに、関係機関・団体等と連携し、深まりのあるプログラムの充実に努める。</p> <p>また、卒業生を具体的な活動の場で活用し、SNS等を活用した効果的な情報発信とネットワーク体制の機能化を図る。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 重点2-(1)ふるさと教育の推進と大学との連携強化</p>	<p>KPIについては、ふるさと教育の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、かごしま創志塾・ジュニア創志塾について、引き続き、卒業生のフォローアップを行い、ネットワークの形成に努めていただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																				
(H26) 90.6	100	%	100.0	100.0%	a																				
37	4 連携中枢都市圏の形成	(1)かごしま連携中枢都市圏ビジョンの推進	連携事業数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>27</td> <td>事業 (7年間)</td> <td>30</td> <td>111.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)	—	27	事業 (7年間)	30	111.1%	a	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R3年度までの取組状況としては、4市の幹事会やビジョン懇談会、市長会議を開催し、かごしま連携中枢都市圏ビジョンの適切な進捗管理を行うことで、連携中枢都市圏の着実な推進が図られた。</p>	<p>引き続き、連携事業の効果的な実施に取り組むとともに、新たな連携事業の実施に向けて積極的に検討・協議を行うなど、連携中枢都市圏の着実な推進を図る。</p> <p>(本施策の第2期総合戦略における位置づけ) 4-(3)-②国内の都市との連携・交流の推進</p>	<p>KPIについては、かごしま連携中枢都市圏ビジョンの推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、本市の役割を明確にした上で、市民の利便性の向上や連携による効果が高い事業に着実に取り組むとともに、市民へのさらなる周知を図っていただきたい。</p> <p>また、KPIについては、今後、第2期総合戦略を推進する中で、施策の効果をより把握できる指標を検討していただきたい。</p>	A					
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R3)	対目標値	評価 (R3)																				
—	27	事業 (7年間)	30	111.1%	a																				